

研究実施のお知らせ

2025 年 6 月 11 日 ver.1.0

研究課題名

生後 1 か月時における発育性股関節形成不全症を対象とした超音波検診の有効性

研究の対象となる方

2017 年 4 月から 2025 年 3 月の間に島根大学医学部附属病院で生まれ、生後 1 か月および 3 か月時に整形外科で股関節の超音波検査を受けられた方

研究の目的・意義

いわゆる先天性股関節脱臼は 1970 年代以降に乳児検診の体制が強化されたおかげで、発生数がかなり低下し現在では赤ちゃんの約 0.3%に発生するといわれています。一方で、検診を受けていたにも関わらず脱臼が見逃されてしまい、発見の遅れによって治療が難しくなる子がみられています。そのため、今一度乳児股関節検診の体制強化が叫ばれており、専門学会を中心にいくつかの対策が始まっています。この研究では島根大学医学部附属病院で取り組んできた、生後 1 か月の乳児を対象とした股関節超音波検診の現状を調査して、それが適切に運用されているのか、何か不足や不備はないかを明らかにすることを目的とし、その結果よりよい検診体制を構築できると期待しています。

研究の方法

この研究では島根大学医学部附属病院の電子カルテに保存されているあなたの個人データとして性別、出生時の小児科医による診察所見、整形外科診察時の診察結果、超音波検査の結果を用います。診療で用いた検査結果のみを使用しますので、研究のために新たに検査を追加することはありません。このデータから生後 1 か月で超音波を用いた検診を実施するとどの程度の数の児に異常が見つかるのかを検証します。さらに受診した児がどのような理由で整形外科へ紹介されたのかを調査し、検診の対象となる基準が妥当であるかを検討します。

研究で用いる情報は氏名、患者 ID を削除したうえで取り扱うため個人が特定される心配はありません。

研究の期間

2025 年 7 月 25 日～2026 年 3 月

研究の公表

この研究から得られた結果は、医学関係の学会や医学雑誌などで公表します。その際にあなたのお名前など個人を識別できる情報を使用することはありません。

研究組織

この研究は次の機関が行います。

研究責任者：

島根大学医学部整形外科学講座 門脇俊

情報の利用停止

ご自身の情報をこの研究に利用してほしくない場合には、ご本人または代理人の方からお申し出いただければ利用を停止することができます。

なお、利用停止のお申し出は、2026 年 1 月までをお願いいたします。それ以降は解析・結果の公表を行うため、情報の一部を削除することができず、ご要望に沿えないことがあります。

相談・連絡先

この研究について、詳しいことをお知りになりたい方、ご自身の情報を研究に利用してほしくない方、その他ご質問のある方は次の担当者にご連絡ください。

研究責任者：

島根大学医学部整形外科学講座／附属病院整形外科 門脇俊

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1

電話 0853-20-2242 FAX 0853-20-2236